



診療科目

内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／内分泌糖尿病内科／リウマチ科／
外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器外科／脊椎脊椎外科／皮膚科／
泌尿器科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／救急科／血液透析センター／
健診センター／病理診断科

病院見学

日帰り見学・宿泊見学(1泊2日)を随時受け付けております。
研修医担当までお気軽にお問い合わせください。



研修医担当
二木 大義
(ふたつぎ ひろよし)

☎090-3192-9941



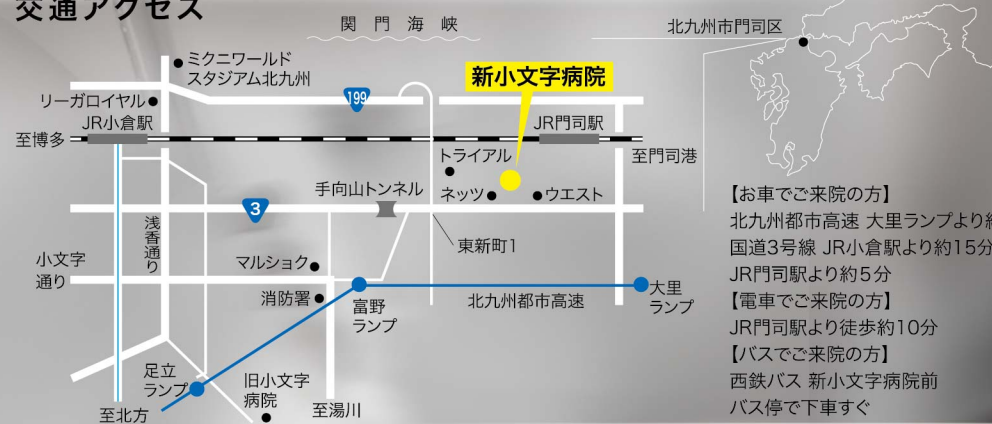
研修医担当
阪本 剛
(さかもと こう)

☎090-5934-5116

初期臨床研修医

募集要項 2024

交通アクセス



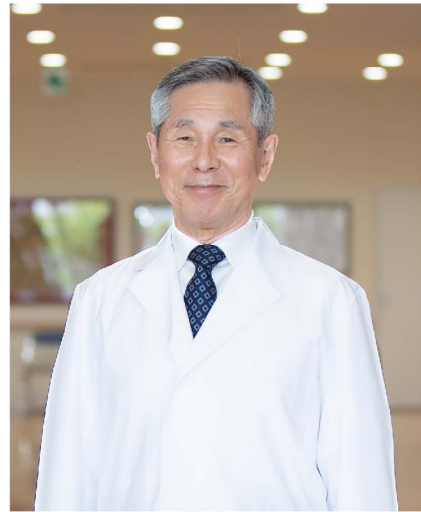
新小文字病院
〒800-0057 福岡県北九州市門司区大里新町2-5

URL <http://www.shinkomonji-hp.jp> 直通 093-391-5151
E-mail kensyuui@shinkomonji-hp.jp ファクシ 0120-093-789

カマチグループ **新小文字病院**
Shinkomonji Hospital

病院機能評価認定病院
災害拠点病院
救急告示病院
病床数214床

2024 INTERN RECRUIT GUIDE



院長から一言

院長 甲斐 秀信 (九州大 S50年卒)

当院の医療は「患者さんは医師に何を求めているのか…」この求めに対して「医師は患者さんに何が出来るか…」医師として責任を果たすべく、多くの経験や兼ね備えた学問的知識、洗練された技術がなければ「患者を救う」ことができないのです。さらに、誠実で、きちんとしたインフォームド・コンセントを行って理解と協力を求め、患者さんの期待に「献身的な態度」で対応するように心がけています。2年間の研修の場として良好な環境が整いつつあり、皆さんが「技術と知識」が得られるように指導させていただきます。皆さん是非、一度見学においでください。

研修の内容

プログラム名	新小文字病院初期臨床研修プログラムI
研修期間	2年間 この間、プライマリ・ケアを基本とした総合的な臨床能力(知識・技術・態度・判断力)に優れた医師の育成を目的として、各診療科の指導医のもとで充実した研修プログラムに従って研修を行います。
研修方式	総合診療(スーパーローテート)方式に基づいて行います。 ○1年次は基本研修科目である、内科、外科・麻酔科(救急科含)、外科系選択、2年次は必修科目である小児科、精神科、産婦人科、地域保健・医療及び選択科目をローテーションします。 ○1年次研修は新小文字病院で、2年次は小児科を国立病院機構小倉医療センター・福岡新水巻病院、産婦人科を福岡新水巻病院、精神科を日明病院で、また選択科目研修は希望により新小文字病院・福岡和白病院・新行橋病院・福岡新水巻病院・新武雄病院・新久喜総合病院でそれぞれ研修を行います。 ○地域保健医療研修は、新武雄病院・下関リハビリテーション病院で2年次に行います。 【研修協力病院】 日明病院・福岡和白病院・新行橋病院・福岡新水巻病院・新武雄病院 国立病院機構小倉医療センター 【研修協力施設】 新久喜総合病院・下関リハビリテーション病院・医療法人 新田医院

3年目以降は希望により1～3年間の専修医制度を設けています。より専門的な研修を行うと共に後輩研修医師の指導にあたっていただきます。

	1年次 研修基本科目				2年次 研修基本科目				
研修例	内科 (24週間)	外科 (12週間)	外科系 選択 (12週間)	麻酔科 (4週間)	地域医療 (4週間)	小児科 (4週間)	産婦人科 (4週間)	精神科 (2週間)	在宅医療 将来専門とする診療科に関連した診療科(選択科目) (34週間)
	※救急科研修は随時行います				※一般外来研修は随時行います				

厚生労働省、文部科学省で見直しされた研修制度の通りに行います。

新小文字病院のあゆみ

当院は1981年9月1日、蒲池真澄医師(九州大 S40年卒 S15年生まれ 現カマチグループ会長)が開院しました。当時、救急を柱とした地域医療の向上に努め、中核病院として日夜努力して今日に至っております。2008年1月1日に門司区(新小文字病院)に移転しました。学問的知識と高度な技術、それに最先端機器をもって一人でも多くの患者さんを救いたいと職員一同頑張っております。

教育指導の特色

- 救急車搬入は年間約3,600台。よって多くの症例に接し、学ぶことができます。
- 年間手術件数が約2,400例実施されています。
- 病院見学があります。(カンボジアアンコール小児病院)
- 様々な急性・慢性疾患について病棟ベッドサイドでの臨床指導を行います。
- 他科との壁が存在せず、他科医とも気軽に話ができます。
- 関連6病院合同学術講演会が年2回、春と秋に実施されています。



縫合実習

募集要項

募集人数	3名(2023年 4月現在)
応募資格	2023年度 医師免許取得見込みの者
応募要領	下記書類を各一部ずつ添えて締切日迄に郵送または直接当院に持参 ●臨床研修願書 ●履歴書(写真付) ●卒業見込証明書または卒業証書
応募締切	定員数となり次第終了となります。
選考基準	書類審査及び面接によって行う。
選考日	随時受付 ※原則として病院見学の際に面接試験を行う。
採用内定	採用の適否にかかわらず本人宛に通知する。 尚、内定者は医師国家試験の合格をもって採用決定とする。
研修開始予定	2024年4月1日
身分・処遇	●身 分…常勤職員 ●給 与…1年次…約5,800,000円/年(税込)※当直手当含む(月4回程度) 2年次…約6,400,000円/年(税込)※当直手当含む(月4回程度) (当直は、指導医又は上級医と共に行う) ●勤務時間…〈平日〉8:30～17:00 〈土曜日〉8:30～12:30 (各科研修の予定により多少異なります) ●休 日…日曜日・祝日・夏季(3日間)・年末年始(5日間) ●住 居…宿舎あり(家賃半額を病院が補助) ●社会保険制度・医師賠償責任保険…あり

福利厚生施設

研修医・看護師宿舎をはじめ、職員が休日を利用してリフレッシュできるロッジなどがあります。下記4施設(湯布院ロッジ・玄海サンセット・九重ロッジ・おいで那須)ともプール、岩風呂、サウナなどがあり、料理も自分たちで作ってワイワイ騒いで楽しいひとときを過ごせる別荘です。皆さんと一緒に膝を抱えて盃を酌み交わす時を楽しみにしてります。



テニス・フットサルコート 湯布院ロッジ 玄海サンセット 九重ロッジ おいで那須



研修医・看護師宿舎



内科 ■循環器科



質の高い医療を。

内科は、体の不調を訴える方全般を対象としています。総合内科の役割として幅広い学問的知識・技術を習得し、質の高い医療を提供できるよう心掛けています。それぞれの患者さんの症状に見合った診断を行い、他科の医師への紹介窓口としての体制も万全です。

総合内科のスペシャリストDr.で、診てもらいたい患者さんが40~50人/日来院

循環器科

循環器科は、薬物溶出型ステントを使用した虚血性心疾患のカテーテル治療、末梢動脈疾患(PAD)のカテーテル治療、除脈性不整脈のペースメーカー治療を行っています。内科研修期間(1、2年目)に於いて循環器内科を研修選択の場合、2か月初期研修医として臨床診療を通してプログラムに沿った研修を行います。同時期に入院患者の担当医となり、研修導入初期は専属の指導医が主に指導にあたります。意欲があれば心カテ検査に携わる事ができます。

カテーテル治療/年間200例 心臓カテーテル/年間300例 PCI/年間100例

副院長 兼 内科主任部長 遠山 奈雅博 (聖マリアンナ医大 H13年卒)



呼吸器センター



研修医の皆さんへ。

新小文字呼吸器センターは平成22年4月に設置されました。当センターで扱う疾患は、①肺腫瘍性疾患、②呼吸器感染症、③縦隔腫瘍等があります。特に当センターでは近年増加が著しい肺癌について重点的に診察を行っています。さらに当院の特色である救急医療と密接に関連する、④胸部外傷、⑤自然気胸といった急性疾患も当センターの大きな柱です。外科研修期間(1、2年目)においては、臨床治療を通してプログラムに沿った体験型研修を行います。意欲があれば処置(胸腔ドレナージ)や手術(開胸・閉胸操作等)に加え、学会発表や論文作成等の学問的指導も行います。

副院長 兼 呼吸器外科部長 宗 哲哉 (産医大 H9年卒)・医学博士・日本呼吸器外科学会評議員・日本外科学会外科指導医・暫定教育医



内分泌・糖尿病内科



内分泌・糖尿病のスペシャリストに!

内分泌・糖尿病内科は糖尿病患者様の血糖コントロール、甲状腺疾患の検査と治療、副腎疾患に対する副腎静脈サンプリング(カテーテル検査)を主にしています。血糖コントロールは先端医療のインスリンポンプ、持続血糖測定器を使いこなせるようになります。副腎静脈サンプリングは他病院では放射線科のIVRグループが行うことが殆どですが、当院では当科が行っており、2019年より連続して福岡県下の全病院の中で施行件数第一位です。意欲があれば携わることが出来ます。また、当院は日本内分泌学会教育認定施設、日本糖尿病教育認定施設なので、当院で研修する事により内分泌専門医、糖尿病専門医を取得することが出来ます。

糖尿病外来患者/年間5,500例 糖尿病入院患者/年間1,100例 副腎静脈サンプリング/年間60例

内分泌・糖尿病内科部長 河原 哲也 (産医大 H11年卒)・医学博士・日本内科学会認定医・指導医・日本糖尿病学会専門医・指導医・日本内分泌学会専門医・指導医



外科



救急疾患に対する緊急手術に24時間対応。

当院の外科では、消化管(食道・胃・大腸)、肝胆道(肝臓・胆嚢・膵臓)、内分泌(乳腺・副腎)、各種ヘルニアなど炎症、腫瘍、外傷性疾患を幅広く扱っています。そのほとんどを腹腔鏡下で行っており施設基準内で可能な手術を全部網羅しています。また、救急疾患に対する緊急手術に24時間対応できる体制を整えています。研修医1年次は基本的な知識・手技を習得、2年次は外科専門領域の処置・手術を指導医のもと行うことができ、専修医以降は国内留学で自身のスキルの向上が図れます。昨今、外科医の減少が叫ばれていますが、人が少なくなっている今こそチャンスです。いっしょに頑張りましょう!!次世代のブラックジャックはあなたです!!

【手術症例】約360例/年間(腹腔鏡下手術 約140例/年間)

外科部長 石田 慎悟 (佐賀大 H19年卒)・日本外科学会専門医



脊髄脊椎治療センター



最高の外科的治療を目指して。

現在では年間約600例を超える脊髄脊椎の手術を行っています。ひとりひとりの患者様に真剣に取り組む私たち以上の脊髄脊椎外科医療チームは、ないと確信しています。脊髄脊椎外科治療は整形外科でもなく、脳神経外科でもなく、脊髄脊椎外科を専門にしているチームが治療を行うべきです。神経を含んだ運動器官の治療です。整形外科や脳神経外科にはとらわれず特化すべき分野と考えています。私たちは脊髄脊椎外科治療の最先端であるという自覚を持ち、そして奢ることなく患者様の目線に立った医療を今後も続けていこうと思っています。最高の外科的治療を目指して…。

【手術件数】約630例/年間

脊髄脊椎外科治療センター長 兼 脊髄脊椎外科部長 高橋 雄一 (徳島大 H16年卒)・日本脳神経外科学会専門医・指導医・日本脊髄外科学会指導医



整形外科



整形外科医師はすべて、新小文字の初期研修出身者。

当院、整形外科は、骨折、関節疾患、関節リウマチに対する内科的治療、外科的治療、末梢神経疾患などを治療しています。また、救急救命センターと連携、多臓器損傷(四肢、骨盤骨折、外傷性胸腹部臓器損傷及び頭部外傷などを合併)に対しても迅速に対応。早期離床のための緊急手術、待機手術を行っています。

【手術件数】約810例/年間

《初期臨床研修医整形外科臨床研修プログラム》

- 整形外科におけるプライマリーケア、基本手技について学ぶ。
- 行動目標 ①問診及び病歴の記載 ②整形外科の診察 ③基本的な整形外科的臨床検査 ④基本的治療など

《整形外科専門医プログラム》

- 大学病院と協力し取得できるプログラムを用意しています。

整形外科部長 佐藤 元紀 (山口大 H16年卒)・日本整形外科学会専門医・日本整形外科学会リウマチ医・麻酔科標榜医



脳神経外科



安心して受けられる脳神経外科手術を行っています。

専門医2名(指導医1名 血管内治療認定医1名)で24時間365日の診療を行い、年間約900名の入院治療、年間約320例の手術治療を行っています。診療技術については年間約400例の脳卒中患者の救急診療に携わりながら自然と身につけています。手術・処置等の技能についてはローテート中に穿頭術を執刀、開頭術・カテーテル治療に第一助手として参加して身に付けます。当科は民間病院としては数少ない専門医研修施設です。初期研修以後、脳神経外科専門医取得までに、一般的手術の執刀、成人脳神経疾患全般を一通り経験することが出来ます。一日でも早く、患者を救える医師になりたい若者を、鋭意募集中です。

【手術件数】約320例/年間

脳神経外科統括部長 駒谷 英基 (久留米大 H13年卒)・日本脳神経外科学会専門医・指導医・日本脊髄外科学会認定医・日本抗加齢医学会専門医・医学博士



消化器内科



胃カメラだけでなく大腸カメラまで習得。

消化器内科の柱は胃大腸カメラを中心とした内視鏡検査です。健診を主としてピロリ胃炎や大腸ポリープなどのスクリーニングを行っています。また救急病院なので他の内科・外科医師と共同して毎日24時間緊急内視鏡(消化管出血に対する止血術など)にも対応しています。やる気さえあれば胆膵内視鏡すら体験できる当院で濃い研修をしてみませんか。

研修医に指導しながら内視鏡検査。

当科の特徴は消化管、肝・胆・膵臓の急性疾患を主体に治療に取り組み、緊急内視鏡や緊急IVR等を積極的に行っています。また、大腸線種瘍に対するHybrid ESD(Endoscopic Submucosal Dissection)や大腸ポリープに対するEMR(Endoscopic Mucosal Resection)なども積極的に行っています。当科病棟の特色として、外科とのコラボレーションも速やかに行われており、患者様の病態に応じた迅速な対応が出来るよう努めております。

GIF年間/5,500例 CF/年間1,000例 ERCP/年間60例

消化器内科部長 沖田 英樹 (熊本大 H18年卒)・日本内科学会認定内科医・日本内科学会総合内科専門医・日本消化器内視鏡学会専門医



救急救命科

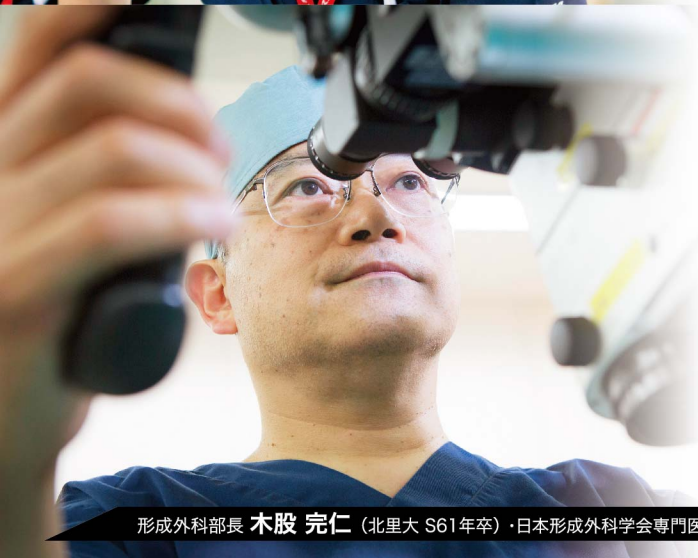


自ら考えること。とにかく数をこなすこと。

当院は北九州市(人口92万人)の救急車の10%を受け入れ、門司区(人口9.4万人)の40%を受け入れております。年間の手術件数は2,600件、年間の入院患者数は6,000件、その約半数が救急外来を經由しております。一次救急から三次救急まで隔てなく受け入れています。年間救急搬入台数は4,000台、救急外来受診者は6,000人。そのほとんどすべてに研修医が関わっているんです!!医療技術(診断技術、手技の技術)上達の力には自らが最前線で考え、手を動かし、結果を出すという経験を何度も何度も反復することです。経験の不足は知識とエビデンスを味方につけましょう。経験豊富な当院のスタッフが全力でサポートします!!我々とともにいい研修、いい救急医療をして充実した2年間を過ごしましょう。

救急救命科部長 富永 尚樹 (長崎大 H23年卒)

・日本DMAT隊員・福岡救急医学会評議員・麻酔科標榜医・日本内科学会認定医・日本心血管インターベンション治療学会認定医・日本救急医学会専門医・日本循環器学会専門医・日本病院総合診療医学会認定医



形成外科



機能回復とQOL向上を目的とする専門外科です。

当科では年間約700例前後の手術を行っています。外傷(擦り傷から重度の熱傷、四肢の切断まで)眼瞼下垂症(瞼の垂れ下がり)、腋臭症、再建外科、難治性潰瘍(褥瘡や糖尿病性壊死)、体表面の軟部腫瘍の治療、美容外科およびリンパ浮腫の手術治療など様々な治療を行っています。また、患者さまのQOLのより一層の向上を目指して、地域医療では特に褥瘡難治性潰瘍を持つ高齢者で在宅医療を希望される方への手助けをしています。最新医療ではリンパ浮腫の治療も行っています。

形成外科部長 木股 完仁 (北里大 S61年卒)・日本形成外科学会専門医・日本褥瘡学会認定師・日本皮膚悪性腫瘍学会専門医



泌尿器科



一步踏み込んだオーダーメイド治療を心がけて。

当科では過活動膀胱や前立腺肥大症などの排尿障害から腎癌、膀胱癌、前立腺癌などの尿路悪性腫瘍まで、各種ガイドラインを取入れながら更に一步踏み込んだオーダーメイド治療を心がけて、診断から治療まですべて院内で完結できるように行います。慢性腎不全は血液透析センターで血液維持透析、急性腎不全などは緊急透析、CHDFなど各種血液浄化も行います。

泌尿器科部長 山内 雅文 (山口大 H3年卒)・日本泌尿器科学会専門医・指導医



放射線科



読影の基本が身に付くように指導。

当院はCT(2台)MRI(3台 3Tを含む)など最先端の装置を用いて画像診断をしています。研修医の方が放射線科へ廻って来た時、読影の基本が身に付くように親切に指導を行います。

放射線科部長 小笠原 伸彦 (山口大 H5年卒)
・日本放射線学会・日本呼吸学会・日本肺癌学会・日本磁気共鳴医学会・日本核医学会



麻酔科

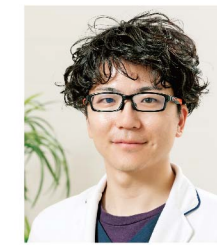


有意義な麻酔科研修を。

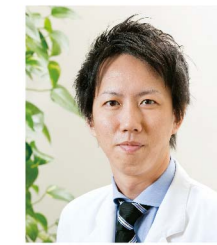
研修制度の中での麻酔科研修として気管挿入の技術取得と気道確保、全身状態の評価、全身管理に重点を置いた指導を行います。また、将来的に麻酔科医を目指している場合には選択期間に重点的な指導を行い、早期に標榜医がとれるように協力します。

麻酔科部長 麻酔専門医(旧麻酔指導医) 松本 守正 (熊本大 H元年卒)

新小文字病院専修医



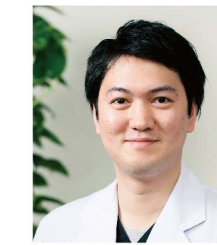
内科 (長崎大 H23年卒)



脊椎脊椎外科 (宮崎大 H23年卒)



整形外科 (琉球大 H25年卒)



呼吸器外科 (久留米大 H27年卒)



内科 (島根大 H28年卒)



整形外科 (島根大 H30年卒)



脊椎脊椎外科 (琉球大 H31年卒)



呼吸器外科 (大分大 R2年卒)



外科 (宮崎大 H31年卒)



循環器内科 (島根大 R3年卒)

2022年度 臨床研修医



(杏林大 R4年卒)



(長崎大 R4年卒)



(熊本大 R4年卒)

年度	人数	出身大学
平成22(2010)年	4名	鹿児島大学、久留米大学
平成23(2011)年	4名	宮崎大学、長崎大学、鹿児島大学
平成24(2012)年	3名	久留米大学、徳島大学、京都府立医科大学
平成25(2013)年	4名	産業医科大学、琉球大学、佐賀大学
平成26(2014)年	4名	山口大学、鳥取大学、琉球大学、関西医科大学
平成27(2015)年	3名	宮崎大学、琉球大学、久留米大学
平成28(2016)年	4名	産業医科大学、三重大学、山口大学、長崎大学
平成29(2017)年	2名	琉球大学、島根大学
平成30(2018)年	3名	山口大学、島根大学、川崎医科大学
平成31(2019)年	3名	産業医科大学、琉球大学、新潟大学
令和2(2020)年	3名	大分大学、長崎大学、宮崎大学
令和3(2021)年	2名	熊本大学、島根大学
令和4(2022)年	3名	熊本大学、長崎大学、杏林大学

関連病院



東京品川病院
東京都品川区・296床



福岡和白病院
福岡市東区・369床



新行橋病院
福岡県行橋市・246床



福岡新水巻病院
福岡県遠賀郡・227床



新武雄病院
佐賀県武雄市195床



新久喜総合病院
埼玉県久喜市・320床



空から陸から広域エリアの患者さんを救う医療搬送用ヘリコプター事業
「ホワイトバード」は、離島や遠隔地の救急医療の新たな救世主です。

カマチグループが行う、医療搬送用ヘリコプター事業「ホワイトバード」は、民間医療施設が行うものとしては、鹿児島県の米盛病院に次ぐヘリコプターの医療用活用事業です。この医療搬送用ヘリコプター「ホワイトバード」は、「厚生労働省認可ドクターヘリ」だけではカバーしきれない、離島や遠隔地、へき地からの患者様の搬送、医師や医療物資の搬送など、あらゆる救命救急搬送に柔軟な対応、威力を発揮します。「ホワイトバード」の導入により、離島やへき地の患者様の救急救命活動や救急医療の更なる拡大が可能となります。

遠隔地からの安全かつスピーディーな患者搬送が可能に。
退院後など、安静が必要な患者の離島や僻地への下り搬送にも利用可能。
事故や災害発生時の患者・医師搬送や物資搬送が可能に。

